

顔の見える木材供給体制構築事業

事業実施主体

協同組合福岡・大川家具工業会

【テーマ】「森に賑わいを」大径材を活用し森と人をつなぐ

背景と目的

【背景】

- ・有効活用されていないスギ大径材と大川の持つポテンシャルをつなぐ
- ・森の生産者と都市部の消費者との顔の見える商流構築

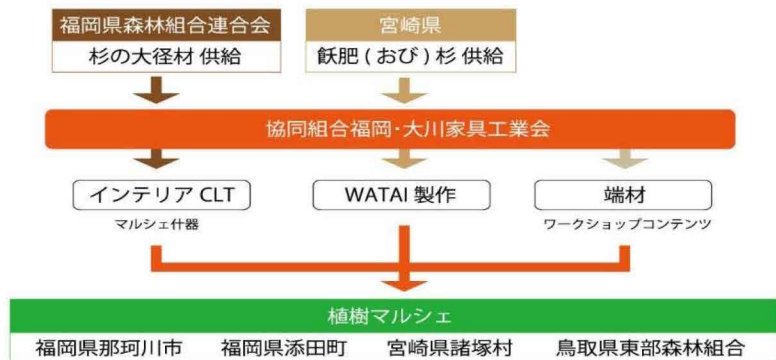
【目的】

- ・スギ大径材の高付加価値化と森のにぎわい創出

対象とする木材・製品、川上から川下までの流通の考え方など

- 福岡県森林組合連合会 ⇨ 福岡県産スギ大径材を供給
- 宮崎県、宮崎県木材組合連合会 ⇨ 飫肥杉を供給
- 福岡・大川家具工業会 ⇨ インテリア²f、マルシェ什器製作
- 各自治体、森林組合 ⇨ センダン植樹マルシェの開催

写真・図等



実施体制・参加団体等

- 【協同組合福岡・大川家具工業会】事業主体として本事業の企画運営・進捗・経理管理、会議開催、事業報告等を実施
- 【協同組合福岡・大川家具工業会地域材開発部会】大径材などを活用した製品製作、成果発表等実務実施
- 【福岡県森林組合連合会】福岡県産スギ大径材を供給
- 【宮崎県、宮崎県木材組合連合会】飫肥杉を供給
- 【各市町村、森林組合等】センダン植樹マルシェの開催

事業内容(本事業における具体的な実施項目)

- ①今回制作を行う「マルシェキット」の企画、デザインを行う
- ②出材されたスギ大径材を当部会事業所で製材、乾燥、集成し「インテリア²f」を製作し、①のデザインに基づいてマルシェ什器を製作
- ③宮崎県で製材、乾燥された飫肥杉と福岡県産材で①のデザインに基づいて新型、²fを製作
- ④当部会事業において出た端材を活用し、①で企画されたワークショップコンテンツを作成
- ⑤東京ビッグサイトで開催される「グッドライフフェア」で、④で一部開発の終わったコンテンツでワークショップを開催し、消費者の反応を確認、フィードバック
- ⑥9月下旬をめぐりに③で製作した2タイプのワタイを大阪²fに展示、在阪道府県事務所へアピールを始める
- ⑦12月を目途に開発商品の写真撮影を行い、マルシェキットカタログ、インテリア²fガイドブックの製作を行う
- ⑧11月以降、自治体、森林組合などで行うセンダン植樹時に、開発した、²fQ マルシェ什器、ワークショップコンテンツを活用した「センダン植樹マルシェ」を開催し、「森のにぎわい」を創出
- ⑨1月10日、11日「大川家具新春展」で「マルシェ」展示

スケジュール

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

商品企画・資材準備・製作準備

試作品製作・カタログ等製作

報告書作成

普及イベント実施